

7か国財務大臣・中央銀行総裁会議声明のポイント

[2004年10月1日]

- 我々は、この1年間議長を務めた米国に感謝し、国際的な経済面の協力が、成長のためのアジェンダ、戦略的レビュー、国際送金イニシアチブ、拡大中東・北アフリカ諸国及び中国との新たなアウトリーチ会合といった新たなイニシアチブという成果に結実したことに満足。
- 世界経済の成長は力強く、2005年の見通しは依然として良好。我々の経済においてインフレ及びインフレ期待は依然として低い。しかし、今はまだ慢心する時ではない。成長はいくつかの地域において他の地域より高く、不均衡が存続している。原油価格は依然として高く、リスクとなっている。したがって、第一に、我々は、価格の緩和を確保するために適切な供給を続けることを産油国に対し要請。第二に、消費国がエネルギー効率性を向上させることが重要である。第三に、産油国及び消費国にとり、原油市場が効率的に機能することが重要であり、石油統計の透明性に関する作業を強化するよう国際エネルギー機関(IEA)に対し奨励。我々は、中期的なエネルギー需給の課題を次回会合でも取り上げる。
- 我々は、健全な財政への、及び持続的な中期的な財政再建のための戦略へのコミットメントを再確認。本日、我々は、成長のためのアジェンダに関する新たな報告書を発表し、より多くの雇用を創出し生産性を向上させるための成長指向の構造改革を我々の定例作業の一部とすることに合意。我々は、最近のドーハ・ラウンドの進展を歓迎。
- 我々は、為替レートは経済ファンダメンタルズを反映すべきであることを再確認。為替レートの過度の変動や無秩序な動きは、経済成長にとって望ましくない。我々は、引き続き為替市場をよく注視し、適切に協力していく。この文脈において、我々は、為替レートの柔軟性を欠く主要な国・経済地域にとって、その更なる柔軟性が、国際金融システムにおいて市場メカニズムに基づき円滑かつ広範な調整を進めるために望ましいことを強調。
- 我々は、テロ攻撃のリスクを減少させるために重要であるテロ資金対策の実施において協力を続けることに依然として強くコミット。
- 総じて新興市場経済は、良好な金融情勢にあり、多くの市場において、金利のスプレッドは低く、ボラティリティが低下。我々は、新興市場国に対し、外的ショックに対する脆弱性を減少させるために良好な世界経済情勢を活用すべきことを促す。我々は、アルゼンチン当局に対し、現行の義務を十全かつ適時に実行するとともに IMF 第三次レビュー完了のために必要なプレイヤー・アクション(事前の行動)を可及的速やかに実施することを促す。アルゼンチンの主たる課題は、引き続き、構造改革、健全な財政枠組みを構築すること及び持続可能な債務再編への債権者の高い参加を達成することにある。我々は、2004年末までにイラク債務問題を解決するという我々のコミットメントのための重要なステップである、イラクについての健全かつ信頼性の高いプログラムがIMFにより合意されたことを歓迎。我々は、当該IMFプログラムを可能とする、対イラク債権者による資金保証を歓迎。
- 我々は、貧困国における経済成長の促進と貧困削減の努力に対する支援を継続。我々は、アジア開発基金(ADF)の財源補充を歓迎し、アフリカ開発基金(AfDF)及び国際開発協会(IDA)の新たな増資を期待。我々は、債務持続可能性、援助効率性、援助吸収能力及びファイナンスのためのファシリティに関する作業を通じたミレニアム宣言の国際的開発目標達成へのコミットメントを再確認。良好な政策、債務持続可能性、結果の説明責任並びに予測可能性及び援助の効率性の強化という原則に基づいてなされる、追加的な資金援助の供与が必要。我々は、全てのプロジェクトについて定量化が可能な指標及び結果を提供し、かつそれらを公表することを開発金融諸機関に対し奨励。我々は、債務救済及びグラント供与を通じて最貧国の債務持続可能性に対処することにコミット。我々は、年末までにこれらの努力につき進捗報告書を用意。